

令和8年度林野火災復旧関連木材利用促進PR業務

企画提案審査要領

令和8年4月

岩手県

令和8年度林野火災復旧関連木材利用促進PR業務 企画提案審査要領

この「企画提案審査要領」（以下「審査要領」という。）は、岩手県（以下「県」という。）が実施する「令和8年度林野火災復旧関連木材利用促進PR業務」（以下「本業務」という。）に係る受託候補者を選定するために行う企画提案の審査について、必要な事項を定めるものである。

1 審査機関

- (1) 本業務に係る企画提案の審査は、企画提案選考委員会（以下「委員会」という。）において実施するものとする。
- (2) 委員会は、企画コンペ参加者（以下「参加者」という。）から提出された企画提案書等について、次に掲げる審査内容に基づき、審査を行うものとする。

2 審査項目、審査の観点及び配点

審査項目		審査の観点	配点
1	会社概要	業務の目的達成を期待できる企業規模（資力、人員体制等）及び営業拠点を有しているか。	5点
2	業務実績	過去における同種業務又は類似業務の実績があるか。	5点
3	業務実施体制	委託業務を確実に遂行できる実施体制、配置人数となっているか。	5点
4	企画提案		
	(1) 全体的な内容	本業務の趣旨・目的等、県の意図を正確に理解しており、企画提案の内容が的確であるとともに、誰もが理解しやすい内容となっているか。	15点
	(2) 林野火災被災木及び県産木材利用促進セミナーの開催	セミナーの開催により、林野火災被災木利用の普及・啓発及び県産木材の魅力が来場者に伝わり、利用の動機づけになるような工夫がされているか。	15点
		セミナーの内容が、来場者だけでなくインターネット等を通じ、多くの林野火災復旧支援に関心のある企業等に伝わるとともに、秋に開催予定の林野火災現地視察ツアーへの誘導となっているか。	10点
	(3) 林野火災現地視察ツアーの開催	現地視察ツアーが、林野火災被災木利用の普及・啓発で終わることなく、参加者による具体的な被災木利用につながる機会の創出になっているか。	15点
現地視察ツアーの内容が、参加者にとって被災木利用と森林再生の関連性など体系的な学びになり、メリットを感じられるものであるか。		10点	
(4) 自由提案	自由提案について、発想やアイデアが特に優れており、受け手の関心をひきつけ、興味を引くような訴求力の高いものとなっているか。	15点	
5	価格	参考見積額が予定価格の範囲内かつ委託内容に対して妥当なものとなっているか。	5点
合計			100点

3 審査方法

- (1) 審査は、参加者から提出された企画提案書及び事前にいただいた質問票への回答に基づいて行う。
- (2) 委員会の委員は、企画提案書等に基づき、個別の審査項目ごとに評価・評点を行う。
- (3) 上記(2)の評点の合計に基づき、上位3者まで順位点（1位－5点、2位－3点、3位－1点）をつけることとし、委員ごとの順位点の合計により順位を決定し、県に報告する。
なお、順位点の合計が同点の場合には、高い順位点の評価（1位の評価）数が多い者を上位者とし、高い順位点の評価が同数の場合には、委員会において合議の上、総合順位を決定するものとする。
- (4) 参加者が1者のみであった場合にも、委員会において企画提案書に基づく審査を実施し、本業務を実施するにふさわしいか否かを評価し、その旨を県に報告するものとする。

【採点基準】

区 分	5点の項目	10点の項目	15点の項目
非常に優れている	5	10	15
優れている	4	8	12
問題ない（中位点）	3	6	9
一部修正が必要	2	4	6
大幅修正が必要	1	2	3
採用できない	0	0	0